

小泉八雲と新宿区

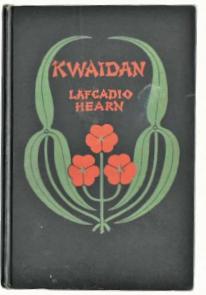
生い立ちをたどる 小泉八雲の生涯

1850年	ギリシャ・レフカダ島で アイルランド人の父とギリシャ人の母のもとに誕生	本名はパトリック・ラフカディオ・ハーン。
1852年 (2歳)	資産家の大叔母、サラ・ブレナンの世話を受ける ようになる	↓アイルランドへ
1863年 (13歳)	イギリスの全寮制学校に入学	↓イギリスへ
1866年 (16歳)	友人との遊戯中に事故で左目を失明	
1867年 (17歳)	大叔母が破産。学校を中退	
1869年 (19歳)	シンシナティで生涯の父と慕う印刷屋ヘンリー・ ワトキンと会う。彼から仕事を教わり、その後出 版社に入社	↓アメリカへ
1874年 (24歳)	出版社で正社員になる。下宿の料理人アリア・ フォリー(マティ)と結婚	
1877年 (27歳)	マティとの結婚生活が破綻。 ニューオーリンズに移り、執筆に専念	
1884年 (34歳)	ニューオーリンズ産業綿花百年記念万国博覧会 で、日本館に興味を持つ	
1887年～ 1890年 (37歳～ 39歳)	マルティニーに取材旅行で2年間滞在。 ニューヨークで読んだ英訳『古事記』等の影響で 来日を決意	↓日本へ
1890年 (40歳)	島根県尋常中学校・ 師範学校の英語教 師として松江へ	小泉八雲の名前の 由来となった出雲 大社へ参拝。 初めて昇殿を許可 された外国人に！
1891年 (41歳)	後に妻となるセツとセツの養父母を伴い、熊本県 へ。第五高等中学校に転任	
1894年 (44歳)	日本に関する最初の著書『知られぬ日本の面影』 を出版。神戸クロニクル社に転職。神戸へ	
1896年 (46歳)	セツと結婚。帰化し「小泉 八雲」と改名。東京帝国大学 の講師に就任。上京し、市 谷富久町(現在の富久町)に 住む	ここに転居！ 
1902年 (51歳)	大久保の新居に移る	
1903年 (52歳)	東京帝国大学講師辞任	
1904年 (54歳)	早稲田大学講師に就任。『怪談』を出版。9月永眠	

縁をたどる 新宿区と小泉八雲のつながり

1896年(明治29年)、東京帝国大学の講師となった八雲は、市谷富久町(現在の富久町)に転居しました。その後、1902年(明治35年)に大久保村西大久保(現在の大久保)へ転居。37年には代表作となる「耳なし芳一」「ろくろ首」「雪女」などを収めた『怪談』(右写真)を出版するも、同時に心臓発作により死去しました。

3面では、区内の史跡として、富久町にある旧居跡のほか、大久保にある小泉八雲記念公園、終焉の地の石碑を紹介しています。



講演と朗読で作品をたどる 小泉八雲朗読のしらべ 「へるん先生傑作選」

日時 2月23日(祝)午後2時～4時30分

会場 四谷区民ホール(内藤町87)

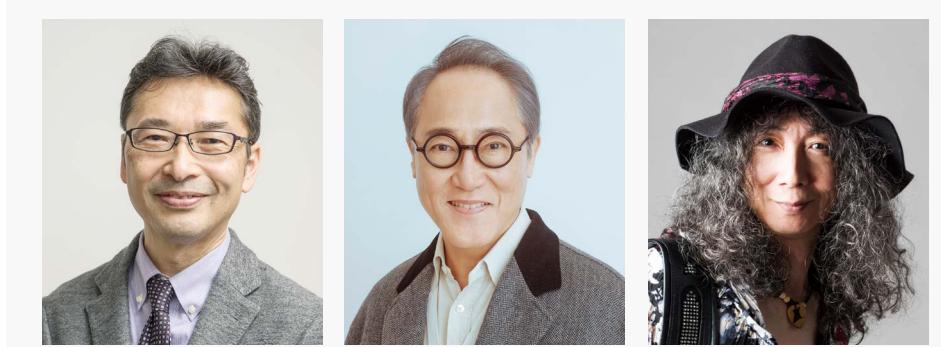
参加
無料

新宿には、近代以降さまざまな文学者や芸術家、学者等が暮らし、創作活動や交流を行いました。明治の文豪・小泉八雲(ラフカディオ・ハーン(へるん))もその一人で、この地で後世に残る作品を世に送り出しました。今回は、そんな八雲の作品の魅力や、八雲と新宿とのつながりを紐解きます。

★吉住区長が5月にギリシャ・レフカダ市を訪問した際の映像記録も上映します。

小泉八雲のひ孫で民俗学者、小泉八雲記念館(島根県松江市)の館長でもある小泉凡さんが、第2部で朗読される作品等について語ります。

佐野史郎さん(俳優)と山本恭司さん(ミュージシャン)が「水飴を買う女」「むじな」「耳なし芳一」等の作品を音楽と共に朗読します。



申込はがきかファックスに5面記入例のとおり記入し、1月30日(必着)までに問合せ先へ。定員350名。応募者多数の場合は抽選し、結果は2月6日(金)以降に応募者全員に郵送でお知らせします。新宿区ホームページ(右上二次元コード)からも申し込みます。

問文化観光課文化資源係(〒160-8484歌舞伎町1-5-1)
(5273)4126・(3209)1500

ここに転居！

八雲とセツ
提供:小泉家

新宿区ゆかりの作家で、日本研究家でもある小泉八雲。9月には、セツ・八雲夫妻をモデルにした連続テレビ小説「ばけばけ」の放送が始まりました。今号では、八雲の足跡をたどる、さまざまな方法を紹介します。

問区政情報課広報係(5273)4064

生誕地とのつながりをたどる

新宿区とギリシャ・レフカダ市との交流

区は、八雲の生誕地であるギリシャ・レフカダ市と平成元年10月に友好都市であることを宣言し、児童・生徒の絵画作品などを通して交流を続けています。

令和6年から市民交流を開始し、10月には市長と市民等を招き、八雲をしのぶとともに文化・歴史を体験してもらいました。今年の5月には吉住区長と区民等が同市を訪問し、現地の市民と交流しました。来年もレフカダ市民等を区にお招きする予定です。

問多文化共生推進課多文化共生推進係(5273)3504



新宿区役所を訪問した
レフカダ市の皆さん

校庭で歓迎してくれた
レフカダ市の子どもたち



ワトキンに宛てたメモ



ワトキンに宛てたカード

筆跡をたどる

新宿歴史博物館「大がらす通信」

同館では、八雲のアメリカ時代の恩人、ヘンリー・ワトキンに宛てた書簡やメモ等を所蔵しています。書簡には、ワトキンが八雲に付けたニックネーム「The Raven(大がらす)」にちなんで特徴的なからすの絵が署名代わりに添えられています。この書簡は同館の公式X(右下二次元コード)で2月末まで毎週紹介しているほか、同館の常設展示室で3月ごろまで展示しています(休館日を除く)。

問新宿歴史博物館(四谷三栄町12-16)(3359)2131



常設展示の様子(展示替えあり)

区内の史跡をたどる

小泉八雲ゆかりの 施設・文化財



史跡の説明看板

小泉八雲旧居跡

八雲が上京してからの約5年間住んでいた場所です。小泉八雲終焉の地(下記)とともに新宿区指定史跡に指定されています。
※現在、工事中のため、石碑等はありません。

【所在地・アクセス】

富久町7-30、東京メトロ丸ノ内線四谷三丁目駅から徒歩8分

小泉八雲終焉の地

八雲が晩年に居住し、亡くなった場所です。大久保小学校の正門脇に、旧居跡と同様に東京八雲同人会により八雲の生誕100年を記念して石碑が建てられました。碑文として八雲の略歴・功績をたたえる内容が記されています。

【所在地・アクセス】

大久保1-1-17

都営大江戸線
東新宿駅から徒歩5分



大久保の旧居 提供:小泉家

並んで建つ石碑

小泉八雲記念公園

小泉八雲の出身地であるギリシャをイメージし、石柱など白を基調に作られた記念公園です。園内には小泉八雲の生涯を紹介する碑や胸像が設置されています。

【所在地・アクセス】
大久保1-7、都営大江戸線東新宿駅から徒歩5分